

① 新同盟の結成大会後、直ちに産別統一に着手しようとするれば、今のうちから、準備活動を行ふ必要がある。そのために第一に必要なのは、『産別協賛委員会』を結成することである。

② 地方協賛委員会は、産別統一に關する具附案を決定した時、その方針に基いて、直ちに産別協賛委員会を召集する必要がある。

③ 産別協賛委員会は、新に結成されるべき産別組合に、当然編入されることを予想されることとなるの各組合の支部、分会、代表者、右翼組合の反対派並に未組織代表を含むに於いて構成する。

④ かくして、この産別協賛委員会が出来たら、この協賛会によって、左の諸問題を整理する。

1. 依りつゝ新産別組合の活動方針、

2. 新組合の規約、

3. 救済問題、

⑤ その他、産別協賛会は、共同斗争——共同の組織活動、単々の相互救援、共同訴訟会、共同懇談会等々——に關する方針を協賛し、充分に実践化する。かくして、それを通じて、全大衆の同志意識を強化することに努力する。

⑥ 不 全口協賛委員会や地方協賛委員会の決定方針の感銘なども、單に地区協賛委員会にだけおとし、大衆へ、産別協賛委員会でも、実行するやうにする。(産別共同ニエに入を發行するやうにするは、申し分ない)

— 以上 —

## 右翼組合の大衆に對する

### 働きかけに關する方針

① 右翼組合の大衆々々、我々の組織統一運動に参加するやあうかと考へられる人々々々

1. 経来、お々の數習下に在った右翼組合の支部、分会の人々々々

2. 右翼組合内は、刷新派的運動——スルテ組織統一の、獨言論に據り記され居る

り、その運動に参加してゐるやうに、分会の人々々々

3. 何れの向題々々、多ク幹事に極度の反感を、右翼組合から脱退しかうとしてゐるやうな支部、分会の人々々々

右のやうな事情の下に在る革新分会の人々々は、当面我々の組織統一に参加する可能性の最も高い人々々々である。

② 我々は、右に述べたやうな事情の下に在る右翼組合の支部や分会を調査し、それに向つて猛烈に働きかける必要がある。

③ 右の働きかけは、單に、『我々は、今、組織統一運動をやつてゐるから、君達もこのやうなやうなやうな、やうな方はよく、それや此の支部や分会の當面の向題の中へ、こつちが引つて行つて、親切にそれを指導したり支援したりするやうな、ピツカチに我々の組織統一運動に引き入るやうにしてはならない。この点、充分に注意しなさい。』と、新同盟結成準備会の連中は右翼組合がラヂオとナワバリ争ひをしてゐるやうな、こゝに引かすやうな誤った印象を興へ